

刊夕 日四月九

常警每日新聞

定価 一月五拾圓 三月十五拾圓 半年三十圓 一年六十圓
廣告料 五號十二字 行金五拾圓
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞株式會社

馬事雜感

T K 生

然し平時から此の様に多數の馬を陸軍が持つて居るといふことは困難で、自然民間に多くの役に立ち得る馬を持つてもらふといふことが必要になるのであり、必要が多ければ生産も従つて活氣づいてくる。需要を多くする爲めには國民全般に馬といふものに對する理解と趣味と愛とを持たせねばならない。即ち競馬だとか馬術だとか或ひは馬の展覽會協進會などは此の意味に於いて催されるもので、決して、博奕のためやら或は特殊の輕業視されるべきものではない譯なのである。競馬は近頃實に盛んになつて來ましたが誠に結構なことだ、これに依つて一般に馬に親しみが出來趣味がつき、又馬を持ちたいといふ人が殖え馬産も従つて活氣を呈して來た譯です。唯吾々が一つ懸念して居るのは餘りに速度速度で行くと馬がヒヨロヒヨロな薄つぺらなものになつて來て實役に適しないものが増加しやしないかといふ点にあるのです。障得を多くし、アングロアラブ系の競馬を加

へ、障得も漸次程度を高くし、コースも段々複雑にしようとして居るのも此の爲め、今やつて居る障得競馬などは平地競争と何等異なる所なく、馬が眞の飛越をして居ないので反つて危険率が大いさやうに思はれます。外國の障得競馬の如きは全く壯觀其のもので興味も實に大なるものです。かうなつて來ると、馬もしつかりした馬でなければ出來ず、又障得を飛越さす可き特殊な調教も必要になつて來る譯になります。目下の所日本では歴史から言つても淺く進歩の途上にあるので止むを得ませんが、なるべく早く前述のやうな具合になつて欲しいと思ふのです。競馬も以上のやうな眞面目な氣持も一面に持つて見て戴くと馬も囁喜んで走ることだと思ひます。よく

用されるのですから馬券も大いに買つて戴くのは結構です、そして敗けた時には馬事獎勵の爲めに寄附したと思ひ、勝つた時には馬は

ノット

俗に蚊がなくといふがブーシといふのは薄い翅を一秒間に三千回以上も羽ばたきする時に出る音だ

競馬場で見受ける餘りにも怒の皮のつばり過ぎた御面相や、表情は少しく文明人としてどうかと思ひますよ。賣上金の一部は之が馬産なり馬事全般の獎勵に利

明日の献立

- 【朝】味噌汁—しじみ 小
- 付 南瓜煮付
- 【晝】豚肉せうが焼き
- 【晚】ごま合—連根 胡瓜 かんぴよう かに 鹽ゆで

全く有難いものだと思ふ、まさかさうも行かないでせうがもう少しこんな氣持を合んでお行儀よく願ひ度いものです。

金の切れ目が縁の切れ目などと考へずに、これは競馬もよいとして、前述の趣旨から馬術競技といふものにも趣味を持つて戴きたへ

俳句

島田 石秋
摘草に歸りを惜む日永かな
雨晴る、雲の動きや桐の花
古池や水の青みに風かほむしあつさねころんで聞く蟬の聲

吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田 久雄

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します
平田町九六
喜多流 謠曲 白土會
詳細は本會へ御問合せ下さい 電一二七番

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)
病室完備 自炊便有
山内醫院
醫學士 山内 亨 吉

貸切

電話 79 番
是非 迅速—親切—御客様本位の……
平三丁目警察署通り
平タクシーへ
▲長距離は特に御相談に應じます。

石炭

一俵十八錢ヨリ
多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。
平町十五丁目 電四六番
エビスヤ燃料店
東洋火災保險株式會社平中央代理店

石炭

コークス 炭
玉 炭
平 驛 前
阿部石炭商店
電話三七番

お醬油は ヤマフル

醬油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品

金山崎合名會社

鹽屋
福島縣平町(電話營業部)醸造工場
明治生命磐城代理店 山崎 與三郎

時計 計 高橋
蓄音器 橋
レコード 時
眼鏡類 計
懷中電燈 店
平町 搔植 小路

滿洲事變を回顧し

國際危局に備へる

三週年の記念日に當り

平在郷軍人分會の計劃

滿洲の曠野を動亂の巻と化した滿洲事變の三週年在郷軍人分會は事變突發の九月十八日を記念すべく

準備中であつたが来る八日午後一時より軍事講演界の權威白石玄海氏の「軍事講演會」を聚樂館に開き軍事思想の鼓吹に努め又

記念日の十八日には分會員一同が松ヶ岡公園の忠魂碑に参拜夜は當時の平町出身在郷兵である井上榮市上等兵外九名を招待、回顧座談會を開き大いに當時の急迫せる情勢を回顧して一九三五・六年の危機に備へる意氣込である

出廻りを遅れて

四倉市場延期か

昨日はまた一圓値下り

四倉南市場は昨日に千三百三貫七百七十匁の出荷あり最高十七圓六十錢、最低十二圓十錢、馴十五圓四十錢にて前日より更に一圓の値下りを見たが本年は氣候不順から一般に出廻が遅れ昨日は四倉養蠶組合代表より出荷遅延を理由として市場の閉鎖を延期せられ度いと陳情もある爲め同市場は本月六日頃閉鎖する豫定の處を八九日延期する模様である

第一職員會議

平第一小學校は本日午後二時より職員會を開き今學期に於

職人の賃銀調べ

平町役場調査の各種職人最近の賃銀は左の如くである

職名	最高	最低
並人夫	八〇	六五
出人夫	一〇〇	八〇
鳶人夫	一二〇	九〇
女人夫	五〇	四〇
大工職	一三〇	八〇
石工	一五〇	一二〇
鍛冶	一五〇	一一〇
左官	一三〇	八〇

収入役の擔保廢止

平町の収入役は從來公金を取扱ふ關係から所有財産の内規程額を擔保として提供したが今回町金庫が七十七銀行の取扱に屬し同行が現金を擔保としてあるので擔保の必要な爲この規程を正することに成り來る町改會附議の上實施することになつた

平町會

七日に開く

平町では来る七日午前十時から町會を招集、左記議案を付議する

- 一、九年度臨時戸數割
- 二、寄附採納
- 三、九年度豫算追加
- 四、町有地特賣
- 五、消防組副組頭慰勞金贈呈
- 六、警備委員補缺推薦
- 七、收入役身元保證規程改正

花街鋪裝實現可能

「花街鋪裝」は愈々具体化して昨日の土木委員會に於ても満場一致で賛意を表したので來る町會に付議されるが本町筋の鋪裝工事完成次第賃工事に着手今秋十一月未だに完成の豫定である同町道は延長九十間で既報の如く總工費四百圓のうち半額二百圓を地元が負擔、一坪二圓三十錢で鋪裝するわけである

廿年前の一年分を一ヶ月間に取扱ふ

去月月中の數字

去月月中の數字

平郵便局で去月月中に取扱つた郵便物引受並に配達數は書留郵便の引受が三千十通、配達が四千四百六通、小包は引受四千四百六通、小包は引受千四百一十八通、配達が千八百

爲替と貯金の替

次ぎに爲替貯金係の窓口を去月月中に出入した金額は爲替の受入が千二百五件、二萬七千五百九十三件、五萬四千二百廿二圓一錢、貯金の受入は三千三百四十四件、十萬四千八百四圓五十六錢、拂出が千九百五十五件、十萬五千七百卅五圓六十五錢である昨年同月から見ると爲替の拂出し高が千五百五十五圓廿二錢の減少を見た外爲替の受入は四千六百六十八圓六十六錢を増加し貯金は受入で一萬五千四百五十五圓五錢、拂出で四千七百廿六圓六十九錢何れも増加して居る

小麥共販

十五錢高値

平農倉庫の第五回小麥共販は昨日午後二時より在庫品二百三十五俵を札せる結果一俵六圓の高値で同様群馬縣高崎市日清製粉工場に落札し前回の入札より十五錢の高値で取引された

中等學校進學志願

校長が訓話

平第一小學校校長藤山廉氏は本日放課後中等學校入學志願生徒一同を講堂に集め種々訓辭を與へたが各學年に於ける志願者は目下の處左の如くである由

出場申込

締切日延期

既報來る十六日警中グラウンドで催される郡聯合青年團主催の郡下各青年對抗体育大會の出場申込締切期は明日であるが警中分團が武道を申込んだのみで陸上競技の申込は全然ないので大會前日迄締切を延期する模様である

内郷代表選手決定

内郷村青年團では去る二日郡下大會出場者の豫選會を開催し出場選手を左の如く決定今後は毎日午後四時より磐炭及高坂校グラウンドで練習を行ふ由

會計主任兼任 平町小學校保護者會は昨日午後二時より第二校會議室に理事會を開き會計主任理事選任を協議の結果當分會長が兼任する事に決定した

非常時局大講演會

皇國の危機に直面して
陸軍少將 工藤 豪吉
軍縮問題の裏面
陸軍大將 橋本 才輔

撃竹の音に 英靈を慰む

除幕式當日に 江名町で剣道有段者會

来る三十日盛大に執行される海軍機遭難將校故増田、島田兩少佐の表忠碑除幕式に對し地元江名町では既報の如く協賛會を組織當日の盛典を後援するが尙石城郡下の剣道有段者を招き式場附近に於て盛大なる剣道大會を開催撃竹の音に地下の英靈を慰さめると

級長さん 第二

小学校は本日第二學期に於ける各學年の正副級長を更替し左の如く決定した

- △第一校(三ノ一)草野昌平 吉田利雄(三ノ二)伊關次郎 安藤信(三ノ三)藤居喜一郎 田中輝郎(三ノ四)國府田信良 山崎靖夫(四ノ一)小野晃平 磯上剛(四ノ二)小園井邦男 藤田文朗(四ノ三)鍋田三省 大塚憲(五ノ一)櫻井博 木下藤三(五ノ二)松本真平 山崎常三郎(五ノ三)岩崎宏次郎 門馬政衛(六ノ一)清水重政 市毛美徳(六ノ二)小林博 吉田博(六ノ三)稻島正 田島秀則(六ノ四)白土健 三浦貞美(高一ノ一)佐藤進 新妻常雄(同二)鈴木光行 小齊新平(高二ノ一)齊藤幸市 吉田昌夫(同二)諸橋唯雄 鈴木良太
- △第二校(三ノ一)高木良子 櫻庭滋子(三ノ二)飯沼俊子 淺野瑛子(三ノ三)木村イミ 梨田三保

- 子(四ノ一)黒木智子 大和田キヨ子(四ノ二)横山和子 鈴木蘭子(四ノ三)遠藤睦子 長瀬多美(五ノ一)阿部みきは 木村アイ子(五ノ二)野口チエ子 三浦榮子(五ノ三)原つね子 鈴木光子(五ノ四)鯨岡久吉 田貞子(六ノ一)小園井端美 石川清子(六ノ二)高木絢子 箱崎幸子(六ノ三)廣澤トキ子 大和田順子(高一ノ一)近藤シズイ 青山

断られた腹癒せに 不穩文書を

配附準備中捕る

失業苦に打のめされた男

内郷村大字宮浦生正利(三ノ一)は長い失業苦に悩んだ揚句の果この程磐城炭礦に採用方を嘆願したが拒絶されて憤慨腹癒せの爲め同礦従業員にアジビラを配付すべく準備中を二日朝半署特高課に檢舉され目下取調べ中

明倫會が 愛國絶叫

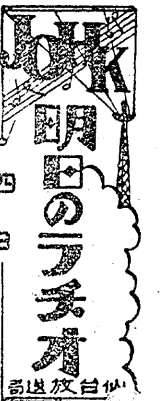
来る七日夜

聚樂館にて
前台灣軍司令官陸軍大將田中國重氏を總裁とする愛國團體明倫會では来る七日午

平商生の 就職準備

校長が面接 希望を聴取

平商業學校では來春卒業生六十五名の就職準備として夏休中を利用して擔任教諭が個別的に性質、技能、趣味其他を詳細に亘つて調査したが此程全部纏つたので本日矢野校長自ら各生徒に面接家庭の事情及び希望職業を聴取した



明日の天才
今晩も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) 童話劇「白白合姫」 北村兒童歌劇協會
- 後六、二五 講演「東西の自然觀」 京城帝大教授 安倍 熊成
- 後七、三〇 趣味の話「藝談十二選」(終) 宮城 道雄
- 後八、〇〇 義太夫 竹本小春太夫
- 後八、三〇 寄席めぐり 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

赤井嶽の頂上 三ヶ所に踊櫓

薬師寺炎上後最初の大祭 復興途上に躍進

昨秋炎上の災厄に遭ひ目下復興の途上に躍進する関伽井嶽薬師の大祭は来る八日九日、十日(舊七月三十日)の兩日盛大に執行される夜は近郷の若い男女が海抜二千餘百尺の頂上で月明の下圓陣を作つて踊り明すので今年は特に境内三ヶ所に櫓を建設して踊り子の爲めに便を計るといふから例年にも増して盛賑を呈するものと見られてゐる

女給探し

籠落され横領費消
茨城縣土浦町朝日町カフェ一角正方コック國府田孫一(三)は知人に頼まれ百卅圓の金を懐中に平町に女給探しに來り昨夜三丁目第三新橋屋に登樓酌婦井上みね(三)を相手に遊興の揚句同女を引連れカフェ一太陽其他を飲み歩き舊城跡聚樂園に夫婦取りで泊り迄んで居た處を平署員に捕れたが預つた金は殆んど費消した

觀世流の謠會

平町
觀世流謠會例會は今日午後六時半からマルトモホールで開かれるが番組は「大佛供養」「烏帽子折」「小督」「百萬」「井筒」で一般の來聴を觀迎する

不動尊の祭禮

平材
木町欣淨寺内不動尊祭禮如來の祭典は明晩であるが餘興に映畫、盆踊等がある

明日の

- 前六、三〇 處世講話「商工經營の眞髓」 二中山太
- 前七、〇一 聖典講義「歎異鈔講本」(三) 梅原眞隆
- 前八、〇〇 俳句の手ほどき(三) 高濱虚子
- 前九、一〇 料理献立 熊野新
- 前一〇、三五 婦人の時間 今秋の流行 色川路柳虹
- 後〇、〇五 和洋合奏 富士營妓樂團
- 後二、五〇 野球試合實況ハイバード 對慶應神宮より中繼
- 後六、〇〇 子供の時間 少年物語 周藤彌兵衛の一念 大崎ふみ子
- 後六、二五 趣味講演「短冊の話」 森繁夫
- 後七、三〇 講演 永井柳太郎
- 後八、〇〇 ギャイオリン 獨奏 諏訪根自子
- 後八、二〇 寄席めぐり 第二夜 大阪北新地花月より中繼

代表競技種目

磐女
体育部では来る十月十七日の新嘗祭を卜し催される陸上大運動會に於ける各學年代表競技種目を左の如く決定したが出場人員は各學年一組其他は四名宛である
五十米 百米 二百米 二百繼走 四百繼走

裁判所たより

△平支部の豫審で有罪と決定した三坂村根本常太郎(五)に對する傷害致死事件及び内郷村大字小島内田鶴吉(七)に對する強盜傷人窃盜事件の公判準備問は本日中島才判長係りの下に行われたが兩名共無資力で辯護士が依頼出來ぬ旨申立たので内田には千葉辯護士根本には山野邊辯護士を官選依頼し近日公判開廷の運びに至つた

玉川村戦功者

玉川
村では日支事變の戦功により左記四氏が恩賞を賜つたので昨三日午前十時から村社住吉神社境内で傳達式を行つた
(金鷄勳章功七級) 山野邊靖(勳八等白色桐葉章) 永山甚一 同若松勳 同吉田豊

自轉車泥捕る

當時
住所不定須賀川町生れ無職西間木金之丞(三)は去る一日夜綴都便局前にあつた自轉車一臺を窃取昨三日平署に檢舉された

警中校長出發

既報
今月中旬滿洲新京に於て開催される全國中學校長會臨時總會に出席の爲め警中校長小楢山久作氏は明日平午

浮名のお調度

（續前上段及上段）

田邊南龍（作）
山本英春（監）

……二二五……

酒の上の亂暴
『夫も宜しうございますな
では榊屋、お前の言葉に隨
つて、お茶を一服貰ひませ
う』

『お疏末でございますが、
江戸から貰ひました菓子か
ございませうから、どうぞお
立寄りを……』

話しながら行く此の善右
衛門は荒物の卸しをしてゐ
る大家の主人、二人を連れ
て戻つて來ると若い者が目
早く

『旦那様お歸り』
と大勢出迎へる

『ア、今歸りました……エ、
旦那様、此方からお上りな
すつて下さいまし』

店の脇の處に一間の入口
がある、玄關形になつてゐ
る、それから奥へ三人はお
上りになつた娘さんが優や
かに手を附いた。

『よう入らつしやいました
毎度御最負様に有難う存じ
ます』

『イヤ娘ツ子か、相變らず
美しいの』

娘は赤くなつて逃げ込む
入變つて女房が立出で種々
待遇を致します、江戸から
貰つたといふ菓子を出し、
娘が薄茶を點つて持出し、茶
を飲みながら主客二人は四

方八方の話をしてをります
すると久之進が
『善右衛門』
『ハイ』
『床の間に宜い盤石がある
な』
『此間江戸の道具屋が持つ
て來て買つて呉れと申しま
すから買置さましてござい

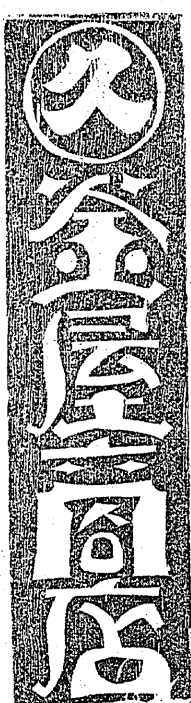


ます、お大名のお拂ひ物だ
さうでございます、私共の
家には少し過ぎた碁盤でこ
ざいます』
『何うも好い碁盤だと思つ
た、一石善右衛門圍まう』

……』
『左様でございますなア、
私はへボでございます、貴
方さまと私と碁を打つます
と、先生が御退屈ですから
……』
『イヤもう決してお構ひな
さらないで』
『それでもどうも些と御迷
惑でございます』
『イヤ決して差支へござら
ん』
『左様ですか、夫ぢやア御
免を蒙りまして旦那と一石
願ひませう』
二人はバチ／＼始める。
久之進の方が少し弱いやう

て、先生様御退屈様で入ら
つしやませう』
『イオ御家内斯うやつて見
て居れば退屈は致さぬ、拙
者も好きであるから見て居
るのがいい』
『それぢやア先生様は御覽
遊ばして被在しやいませ傍
ら御酒を一口差上げますが
如何ですか、失禮ですがれ
ども粗末な魚でございます
到來ものです、御飲りなす
つて下さいまし』
『イヤそりやア結構、肴は
別に要らない、茶の代りに
一口頂かうか』
二種ばかりの肴に香の物
をつけて女房と娘の二人で
それへ來て取持をして居る
久之進と善右衛門はごにか
つたから夢中だ、ご敵は
憎さも憎し懐しい、何うも
斯う云ふ事にかゝると何事
も忘れて了ふ、氣も奪はれ
て打つてゐるのだから、先
生が三合五合のんで大分
酒が廻つて來たことも知ら
ない、尤も仁兵衛と云ふ人
は一升酒をのむ人だから五
合位ではさのみ銘酒と云ふ
譯でもない。

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は
の生命なり

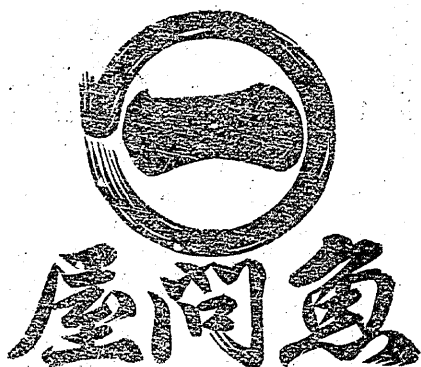
内科 小兒科 花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

かつを

塩から



店理代平命生本日本大最優最
榮盛賀志
(三一電)目丁四平

貸切の御用命は

ぜひ・三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好問、合戸、澤渡方面行

10日
機新
設
体温計の検査日です
お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
計量器 指定販賣人
西村屋藥局
電三番

科内

川井内科診療所

川井安子
平町(電話二四三番)